

平成25年度 市民事業交流会 企画案

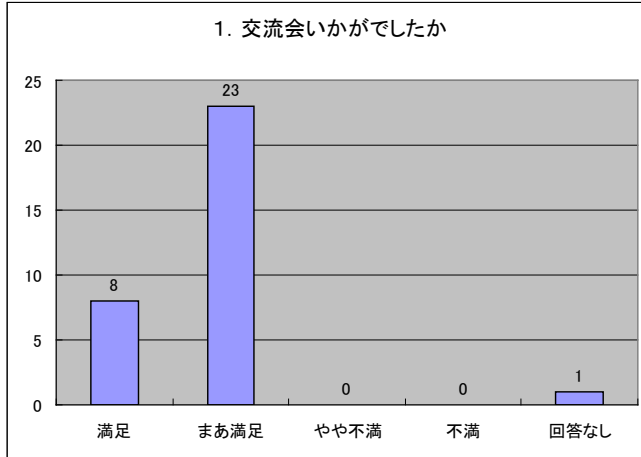
区分	(案の1) 中間報告会	(案の2) 現地検討会	(案の3) 市民団体活動展
目的	①補助事業者相互のネットワークづくりを通じた市民事業の拡大・拡充 ②補助事業者と他の市民団体等との交流の促進 ③補助事業者の <u>事業実施状況の確認</u>	①補助事業者相互のネットワークづくりを通じた市民事業の拡大・拡充 ②補助事業者と他の市民団体等との交流の促進 ③補助事業者に対する <u>安全な資機材利用方法の周知</u>	①補助事業者相互のネットワークづくりを通じた市民事業の拡大・拡充 ②補助事業者と他の市民団体等との交流の促進 ③ <u>県民に対する市民団体の活動の広報</u>
開催候補日時	平成25年10月～11月の休日 13時～18時頃	平成25年10月～11月の休日 9時半～14時頃 →開催日候補 10月5(土), 6(日), 12(土), 13(日), 19(土), 20(日), 27(日)、11月3(日), 24(日)	平成25年10月～11月の休日 11時～17時頃 →開催日候補 10月14日(月・祝)
会場	厚木商工会議所等 (広い会議スペース)	やどりき水源林(松田町)	新都市プラザ (そごう浜店地下2階正面入口前)
内容	①活動状況報告 ②参加者によるグループディスカッション ③補助事業者によるポスターセッション ④事務局による市民事業支援補助金相談コーナー	①現地研修 ・森林整備技術研修 ・水質調査研修 ②意見交換・反省会	①団体ごとのブース出展 (活動内容紹介パネル展示等) ②活動紹介チラシ、グッズの配布 など
特記事項	○H21～22年度実施。 ○他の <u>市民団体の活動状況について、じっくり話を聞くことができる。</u> ○補助団体相互の交流のみとなり、 <u>県民に対する団体活動のアピールができない。</u>	○H23年度実施。 ○現場で実際に機材を利用した安全講習を行うことで、 <u>安全対策の認識を高めることができる。</u> ○安全講習は、DVDを配布することで対応が可能。 ○補助団体相互の交流のみとなり、 <u>県民に対する団体活動のアピールができない。</u>	○H24年度実施。 ○人通りの多い場所で実施するため、納税者である <u>県民に対し団体活動を直接アピールすることができる。</u> ○来場者への水源施策の紹介・解説がメインとなり、(案の1)及び(案の2)と比較して、 <u>補助団体相互の交流時間が少ない。</u>

平成24年度市民事業交流会 アンケート集計結果（出展団体）

今後の取組の参考とするため、交流会に参加いただいた方々にアンケートをお願いしたところ、多数のご回答をいただきました。集計結果は次のとおりです。

■回収したアンケート数…31枚（内訳：平成24年度補助事業者29枚、その他の団体1枚、未記入1枚）

Q 1 本日の交流会はいかがでしたか。



主な意見

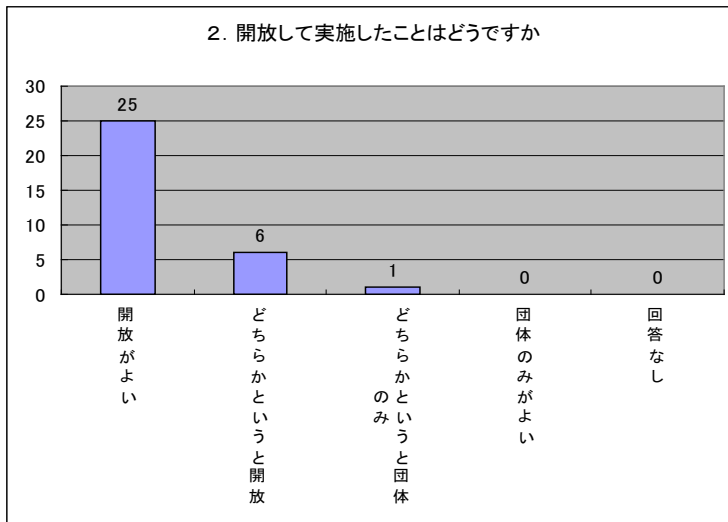
○満足できた点

- ・他団体の活動の趣旨や取組がよく理解できた。
- ・他団体との交流だけでなく、一般県民に対しても広く活動をPRできた。
- ・間伐材を使った他団体の製品を見るなど、出展者としても楽しむことができた。

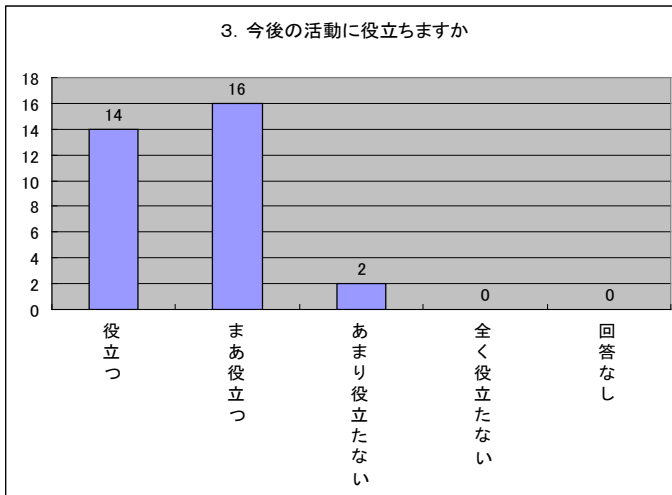
●不満だった点

- ・会場スペースが狭かった。
- ・希望があっても、購入・販売行為ができなかった。

Q 2 団体のみで交流会を実施するのではなく、県民に開放して実施したことはどうですか。



Q 3 本日の交流会は今後の活動に役立ちますか。



主な意見

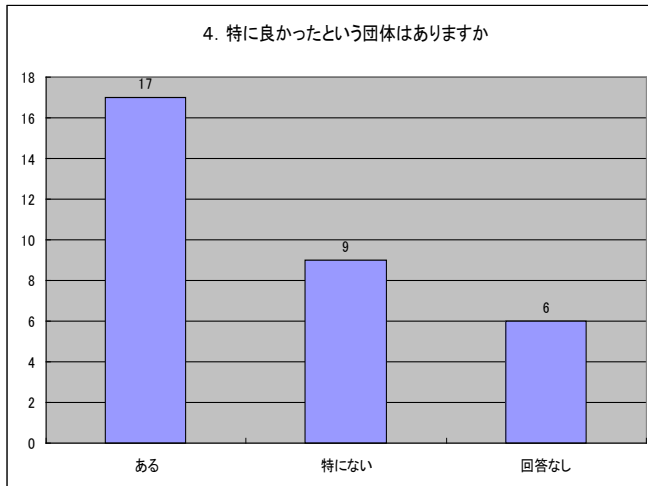
○良かった点

- ・団体活動の方向性を検証できた。
- ・県民の興味のポイントが分かった。
- ・県民が木にどれ位の興味があるかリサーチできた。
- ・他団体の状況が理解できた。

●悪かった点

- ・もう少し参加者（来場者）が欲しかった。

Q 4 出展内容が特に良かった団体はありますか。



主な意見

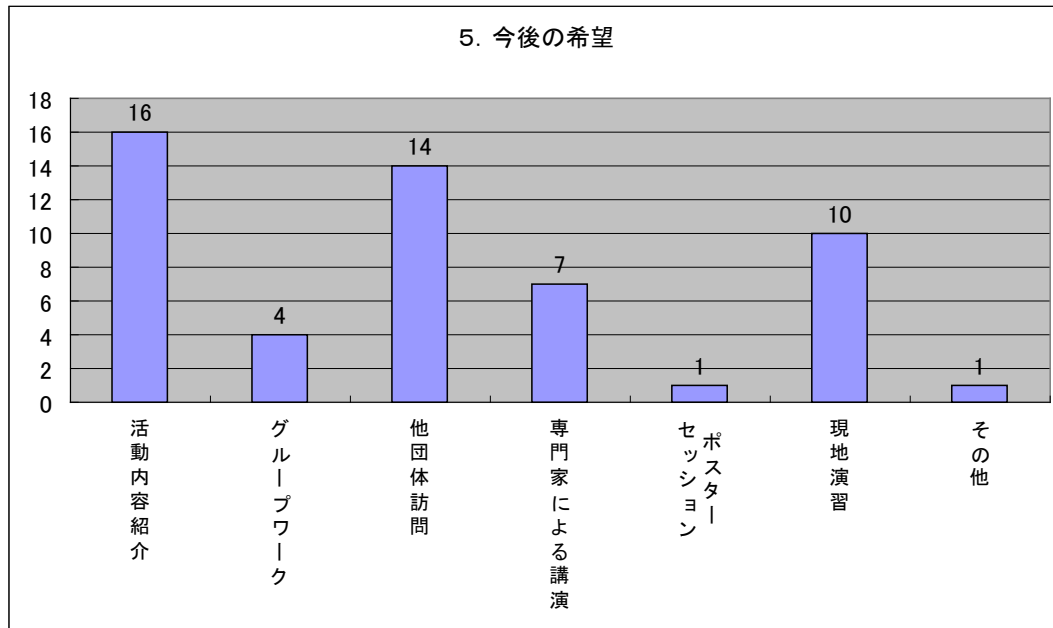
○良かった団体と内容

- ・丹沢森の仲間たち(5票)
⇒豊富な活動・説明と作品の展示
- ・緑のダム北相模(2票)
⇒間伐材を使った積み木の展示
- ・かながわ森林インストラクターの会(2票)
⇒水源かん養機能の実験
- ・四十八瀬川自然村(2票)
⇒プレゼントの配付
- ・森のなかま(1票)
- ・海老名里山づくりボランティア(1票)
- ・ウッドボイス(1票)

●その他

どの団体も、工夫していて良かった。

Q 5 今後、交流会を開催する場合、どのような内容を希望しますか（複数回答可）



その他：定期的な開催を希望。

Q 6 その他、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。

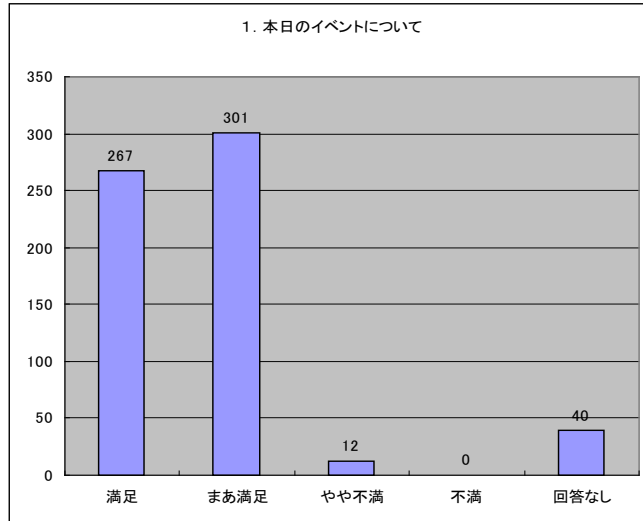
- ・無料駐車場が無いので、料金が高かった。
- ・一般の方が気軽に立ち寄れる会場で、大変良かった。/会場は野外が良い。
- ・開催時期は、今頃が良い。/夏休み・休日など、生徒や学生が参加できる日が良い。
- ・定期的に、各団体の活動地で開催してほしい。

平成24年度市民事業交流会 アンケート集計結果（県民）

今後の取組の参考とするため、交流会にご来場いただいた県民の方々にアンケートをお願いしたところ、多数のご回答をいただきました。集計結果は次のとおりです。

■回収したアンケート数…620枚

Q 1 本日のイベントはいかがでしたか。



主な意見

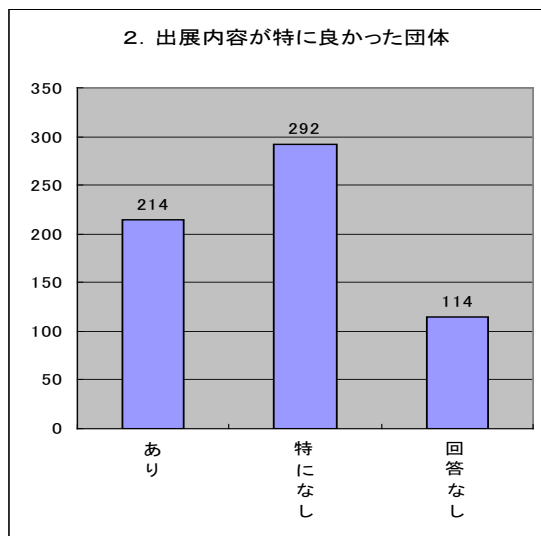
○満足できた点

- ・市民団体の方々の色々な取組をはじめて知ることができた
- ・他では見られない作品や展示があり、とても面白かった
- ・活動者の方から直接話を聞いた
- ・スタッフの説明が丁寧で分かりやすかった
- ・普段使っている水の大切さ、水源を守ることの必要性を実感できた
- ・水やひのきチップなどの配布物があった
- ・かわいい着ぐるみが登場した

●不満だった点

- ・もう少し広いスペースだとより見やすい
- ・一部、団体の展示が貧弱

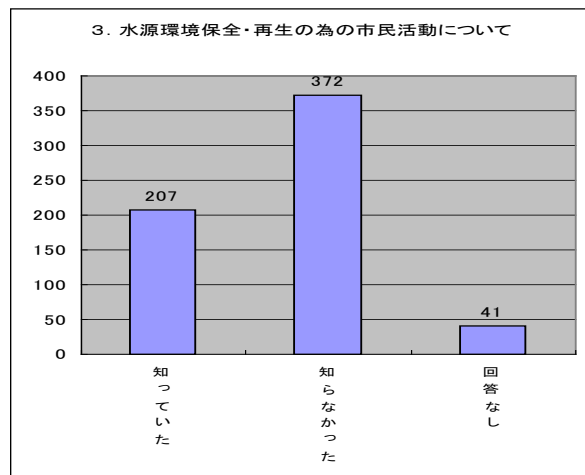
Q 2 出展内容が特に良かったという団体はありますか。



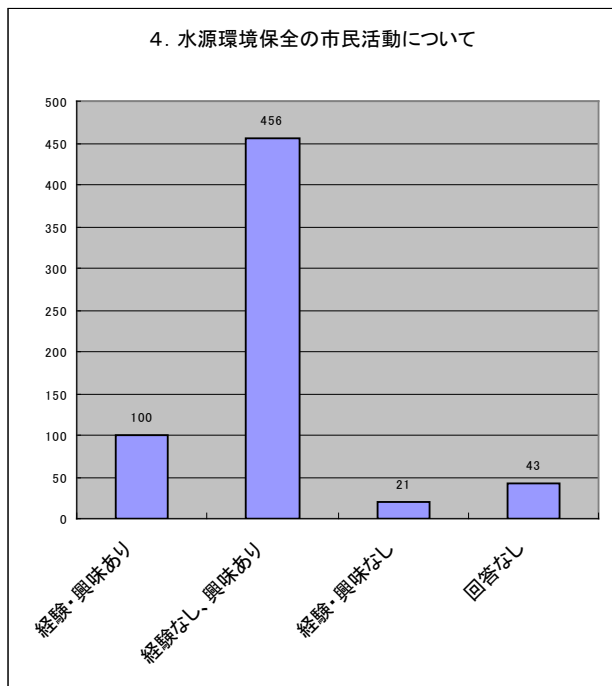
特に良かった団体（ベスト8）

団体名	票
海老名里山づくりボランティア	47
丹沢森の仲間たち	19
森のなかま	16
緑のダム北相模	9
ウッドボイス	8
四十八瀬川自然村	7
かながわ森林インストラクターの会	6
楽竹会	5

Q 3 市民団体による、こうした水源環境保全・再生のための活動をご存知でしたか。



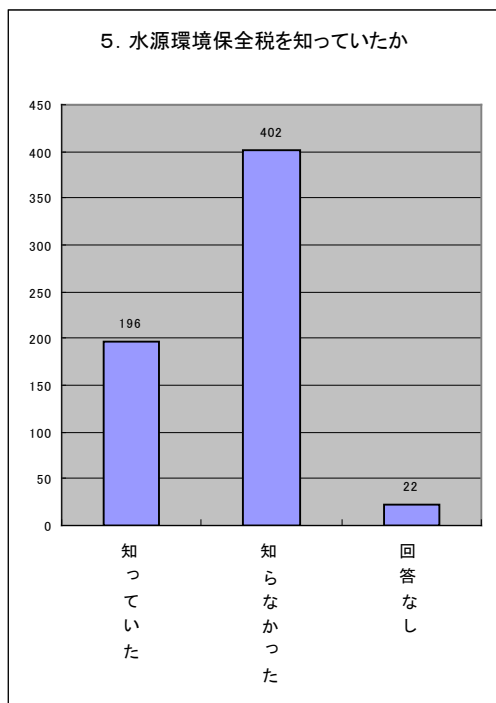
Q 4 水源環境保全のための市民活動を行っていますか（過去の経験を含む）。
また、こうした活動に興味がありますか。



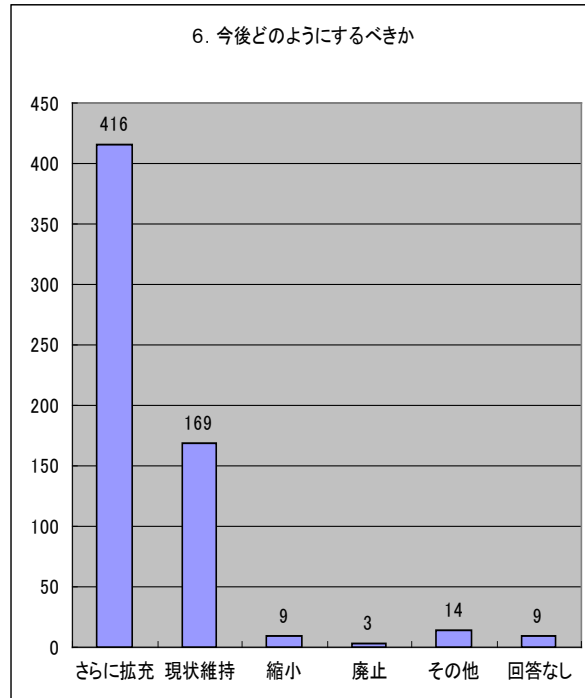
具体的な活動内容（「経験あり」回答者）

- ・植林と伐採
- ・雨水を貯めている
- ・水源地域の人々との長い触れ合い
- ・水源のバス旅行へ行った
- ・水源地へ出かけた

Q 5 県では、個人県民税の超過課税（水源環境保全税）を財源に、水源環境保全・再生のための取組を行っています。このことについて、ご存知でしたか。



Q 5 水源環境保全税を活用した水源環境保全・再生事業は、今後どうしていきべきだと思いますか。



「その他」回答者意見

- ・このようなイベントをもっとやってほしい
- ・他国に水資源を買われないようにしてほしい
- ・（超過課税ではなく）本来の税で行うべき
- ・水源環境保全の取組以外には、絶対に使わないでほしい
- ・事業費と有効性が分かるようにしてほしい

